

滝沢市水道事業ビジョン、滝沢市水道事業中期経営計画（後期）における目標値の達成状況について

平成28年3月に策定した滝沢市水道事業ビジョン（以下「現行ビジョン」という）と、それを具現化するために、現行ビジョン期間後半にあてて令和元年5月に策定した滝沢市水道事業中期経営計画（後期）（以下「経営計画」という）において設定した指標等の目標値について、令和3年度実績でどの程度達成されたかを確認します（目標年度は平成34年度（令和4年度））。

1 現行ビジョンにおける目標値の達成状況

現行ビジョン第6章目標達成のための実現方策の「6-3. 目標とする指標」について達成状況を確認します。

（1）安心・安全

【塩素臭から見たおいしい水達成率】、【地下水率】ともに目標を達成しています。

（2）安定・強靱

【有収率】、【管路の耐震化率】など目標を達成している指標が多い中、【配水池貯留能力】と【配水池耐震施設率】が目標を達成していません。これは現行ビジョン策定時に計画していた柳沢高区配水池増設が延期（増設ではなく更新に計画変更）されているためです。

（3）環境・持続

ほとんどの指標で目標を達成していますが、【水道業務経験年数度】が目標を達成していません。人事異動について、水道事業に係る事務経験が豊富な職員を配置する具体的な取組が市長部局との間で進んでいないためです。

2 経営計画における目標値の達成状況

経営計画に記載された「施策別目標値」と「後期経営計画建設改良事業計画」について達成状況を確認します。

○ 施策別目標値

(1) 安心・安全 安心して飲むことができる安全な水道

・水源の確保と保全

地下水率を増やし、井戸のポンプ交換・洗浄を実施するなどして地下水の活用を進めました。水源保全用地取得に向けての業務はあまり進めることができませんでした。

・安全な水の供給

水源の監視・警備の継続、水質管理の強化については、ほぼ目標を達成することができました。

・給水サービスの向上

管網水理計算や貯水槽水道への管理指導を実施し給配水施設の適正管理を進めましたが、具体的な適正水圧の確保や、管網のループ化計画の策定までには至りませんでした。

(2) 安定・強靱 安定した給水を実現する強靱な水道

・水道施設の適正化

老朽管更新工事を着実に実施しており、管路の耐震化率は令和4年度末に目標に達する見込みです。また、有収率向上に係る取組として漏水調査・修繕を継続して実施し、漏水防止講座を受講するなどして有収率向上のための知識を習得するように努めました。他方で、目標に掲げていた各計画（基幹水道施設整備計画、老朽水道施設更新計画、配水管整備計画、老朽管更新計画）の策定は実施できず、柳沢高区配水池は増設ではなく更新に変更することにしたため未実施であり、期間内の機能増強とはなりませんでした。

・災害時応急対策の推進

耐震管への更新や応急機材の確保、隣接市町との連絡管の整備など推進できた点がある一方で、受援計画、BCPの策定、改定を実施することができませんでした。

・給水区域の拡大

柳沢開拓専用水道組合の組合継続の意思確認をしました。

(3) 環境・持続 環境に配慮した持続可能な水道

・顧客サービスの向上

令和3年度に料金徴収業務について新たな委託契約（契約期間：令和4～8年度）を締結し、ワンストップサービスの継続に努めました。また、水道アンケートを実施して水道使用者のニーズを把握したり、スマートメーターの研究等を行ったりしました。情報管理の適正化、広聴広報の充実にも努めましたが、新型コロナウイルス

ス感染症対策のため一部啓発活動が制限されました。

- **環境対策の推進**

浄水汚泥を適正に処理するなど、環境に配慮した事業活動を行いました。

- **財政の健全化**

令和３年度にアセットマネジメント補正業務を実施し、その結果を踏まえて令和４年度に水道料金の改定について検討することとします。料金未納対策は目標を大幅に上回って達成しています。柳沢低区浄水場の施設廃止や広域連携の最適化検討は実施できませんでした。

- **人材育成と組織力の効果**

滝沢市企業職員確保育成方針を策定し、各研究会、研修会に参加するなどして人材育成に取り組みましたが、市人事部局との協議は実施できず、引き続き人事異動に係る問題を抱えています。

- **官民連携・広域連携の推進**

効率的な業務委託、周辺事業体との連携強化を積極的に推進することはできませんでした。

○ 後期経営計画建設改良事業計画

・水道施設整備費

柳沢取水ポンプ場は3号ポンプを交換し、令和4年度には非常用自家発電設備を整備する予定です。柳沢水源から岩手山浄水場への導水管整備や柳沢高区配水池増設は実施できませんでしたが、その分、各施設の電気・計測設備等の更新・補修を積極的に行いました。

・配水管整備費

柳沢地内～巣子地内、湯舟沢地内、篠木中屋敷地内～篠木明法地内への配水管新設や、柳沢高区系、柳沢低区系、小岩井一駒形系間の老朽管更新を計画以上に実施しました。

・その他

検満メーターの交換を継続して実施しました。